

## 交付図書の訂正について

令和5年3月10日付けで入札公告を行った「常磐自動車道 浪江工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、訂正した交付図書は、競争参加資格申請者に送付致します。

令和5年4月4日

契約責任者

東日本高速道路株式会社

東北支社長 田仲 博幸

### 【訂正内容】

- ・ 特記仕様書
- ・ 金抜設計書
- ・ 数量明細表
- ・ 割掛対象表
- ・ 割掛対象表参考内訳書
- ・ 設計図（本線）
- ・ 設計図（溝渠工）
- ・ 設計図（請戸川橋下部工）

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

常 磐 自 動 車 道  
浪 江 工 事

交 付 図 書 正 誤 表

令和 5 年 4 月

東日本高速道路株式会社 東北支社  
いわき工事事務所

対象	誤	正	備考																																																
特記仕様書 27-14 構造物取壊し	<p>(9) 支払 立入防止柵の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1m当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う立入防止柵又はその出入口の設置に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。なお本特記仕様書「27-12-（6）品質管理」及び「27-12-（7）検査」に要する増加費用については監督員と受注者とで協議し定めることができるものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>15-（5） 立入防止柵 一般型非積雪地用</td><td>m</td></tr></table> <p>27-13 縁石工 (1) 種別 共通仕様書18-16縁石工の種別は次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>縁石工 工場製コンクリート縁石（R）</td><td>STA. 158+96. 892【浪江 8】C-Bx における既設工場製コンクリート縁石の撤去・再設置</td></tr></table> <p>(2) 支払 共通仕様書18-6-5「支払」に次の項目を追加する。 縁石工の支払は、前項の規定により検測された数量に対し、1m当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う既設コンクリート縁石の撤去、再設置等、縁石工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成させるために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>18-（4） 縁石工 工場製コンクリート縁石（R）</td><td>m</td></tr></table> <p>27-14 構造物等取壊し (1) 種別 共通仕様書18-12-2「種別」に次の項目を追加する。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type A）</td><td>1) コンクリート構造物（無筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr><tr><td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type B）</td><td>1) コンクリート構造物（有筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr><tr><td>構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し （Type A）</td><td>1) アスファルト舗装版（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr><tr><td>構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type A）</td><td>1) 既設のり面シールコンクリート（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr><tr><td>構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type B）</td><td>1) 既設コンクリート吹付（t=10 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr></table>	単価表の項目	検測の単位	15-（5） 立入防止柵 一般型非積雪地用	m	単価表の項目	作業内容	縁石工 工場製コンクリート縁石（R）	STA. 158+96. 892【浪江 8】C-Bx における既設工場製コンクリート縁石の撤去・再設置	単価表の項目	検測の単位	18-（4） 縁石工 工場製コンクリート縁石（R）	m	単価表の項目	作業内容	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type A）	1) コンクリート構造物（無筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type B）	1) コンクリート構造物（有筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し （Type A）	1) アスファルト舗装版（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type A）	1) 既設のり面シールコンクリート（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type B）	1) 既設コンクリート吹付（t=10 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	<p>(9) 支払 立入防止柵の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1m当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う立入防止柵又はその出入口の設置に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。なお本特記仕様書「27-12-（6）品質管理」及び「27-12-（7）検査」に要する増加費用については監督員と受注者とで協議し定めることができるものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>15-（5） 立入防止柵 一般型非積雪地用</td><td>m</td></tr></table> <p>27-13 縁石工 (1) 種別 共通仕様書18-16縁石工の種別は次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>縁石工 工場製コンクリート縁石（R）</td><td>STA. 158+96. 892【浪江 8】C-Bx における既設工場製コンクリート縁石の撤去・再設置</td></tr></table> <p>(2) 支払 共通仕様書18-6-5「支払」に次の項目を追加する。 縁石工の支払は、前項の規定により検測された数量に対し、1m当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う既設コンクリート縁石の撤去、再設置等、縁石工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成させるために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>18-（4） 縁石工 工場製コンクリート縁石（R）</td><td>m</td></tr></table> <p>27-14 構造物等取壊し (1) 種別 共通仕様書18-12-2「種別」に次の項目を追加する。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作業内容</th></tr><tr><td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type A）</td><td>1) コンクリート構造物（無筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr><tr><td>構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type B）</td><td>1) コンクリート構造物（有筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr><tr><td>構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し （Type A）</td><td>1) アスファルト舗装版（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr><tr><td>構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type A）</td><td>1) 既設のり面シールコンクリート（t=10 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr><tr><td>構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type B）</td><td>1) 既設コンクリート吹付（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費</td></tr></table>	単価表の項目	検測の単位	15-（5） 立入防止柵 一般型非積雪地用	m	単価表の項目	作業内容	縁石工 工場製コンクリート縁石（R）	STA. 158+96. 892【浪江 8】C-Bx における既設工場製コンクリート縁石の撤去・再設置	単価表の項目	検測の単位	18-（4） 縁石工 工場製コンクリート縁石（R）	m	単価表の項目	作業内容	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type A）	1) コンクリート構造物（無筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type B）	1) コンクリート構造物（有筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し （Type A）	1) アスファルト舗装版（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type A）	1) 既設のり面シールコンクリート（t=10 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type B）	1) 既設コンクリート吹付（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費	訂正
単価表の項目	検測の単位																																																		
15-（5） 立入防止柵 一般型非積雪地用	m																																																		
単価表の項目	作業内容																																																		
縁石工 工場製コンクリート縁石（R）	STA. 158+96. 892【浪江 8】C-Bx における既設工場製コンクリート縁石の撤去・再設置																																																		
単価表の項目	検測の単位																																																		
18-（4） 縁石工 工場製コンクリート縁石（R）	m																																																		
単価表の項目	作業内容																																																		
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type A）	1) コンクリート構造物（無筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type B）	1) コンクリート構造物（有筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		
構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し （Type A）	1) アスファルト舗装版（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		
構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type A）	1) 既設のり面シールコンクリート（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		
構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type B）	1) 既設コンクリート吹付（t=10 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		
単価表の項目	検測の単位																																																		
15-（5） 立入防止柵 一般型非積雪地用	m																																																		
単価表の項目	作業内容																																																		
縁石工 工場製コンクリート縁石（R）	STA. 158+96. 892【浪江 8】C-Bx における既設工場製コンクリート縁石の撤去・再設置																																																		
単価表の項目	検測の単位																																																		
18-（4） 縁石工 工場製コンクリート縁石（R）	m																																																		
単価表の項目	作業内容																																																		
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type A）	1) コンクリート構造物（無筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		
構造物等取壊し コンクリート構造物取壊し （Type B）	1) コンクリート構造物（有筋）の取壊し、積込み ※既設用・排水構造物含む 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		
構造物等取壊し アスファルト舗装版取壊し （Type A）	1) アスファルト舗装版（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		
構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type A）	1) 既設のり面シールコンクリート（t=10 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		
構造物等取壊し のり面吹付取壊し （Type B）	1) 既設コンクリート吹付（t=5 cm）の取壊し、積込み 2) ダンプトラックによる処理施設への運搬 3) 処分費																																																		



対象	誤	正	備考																																														
特記仕様書 27-19 補強土壁工	<p>2 7－1 8 段差抑制工</p> <p>(1)定義 段差抑制工とは、ボックスカルバートと土工部との境界部において、地盤沈下による舗装路面での段差発生を想定し、ボックスカルバート前後にジオテキスタイル（敷網）を敷設することをいう。</p> <p>(2)種別 敷網工の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>補強材の基準強度</th><th>摘要</th></tr><tr><td>段差抑制工 A</td><td>74kN/m 以上</td><td>伸び率 7%以上</td></tr></table> <p>(3)施工 段差抑制工の設置位置は、上部路床の中間部（舗装下面より 15cm）を基本とする。設置方向については、本線縦断方向に敷設するものとし、仮止め用アンカーピンは施工幅 2m に対して 4 本固定する。また、敷網同士の重ね合わせは行わない。敷網の連結が必要な場合は、専用の連結部材を用いて、確実に連結するものとする。</p> <p>(4)数量の検測 段差抑制工の数量の検測は、設計数量(m²)で行うものとする。</p> <p>(5)支払 段差抑制工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m²当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う敷網の敷設、仮止め用アンカーピンの打設等、敷網工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で、諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><td rowspan="2">特－（２）</td><td>単価表の項目</td><td>検測の単位</td></tr><tr><td>段差抑制工 A</td><td>m²</td></tr></table> <p>2 7－1 9 補強土壁工</p> <p>(1)定義 補強土壁工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、面状あるいは帯状の補強材を土中に敷設し、壁面材を設置することによりのり面の安定を図ることをいう。</p> <p>(2)適用すべき諸基準 ①ジオテキスタイルを用いた補強土の設計・施工マニュアル改訂版 （平成 25 年 12 月 一般財団法人 土木研究センター） ②アデムウォール（補強土壁）工法 設計・施工マニュアル （平成 26 年 12 月 一般財団法人 土木研究センター） ③土木施工管理要領（令和 4 年 7 月 東日本高速道路(株)） ④道路土工 擁壁工指針（平成 24 年度版 （社）日本道路協会）</p> <p>(3)種別 補強土壁工の単価表の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>設置箇所</th><th>盛土材の設計条件</th><th>摘要</th></tr><tr><td>補強土壁工 A</td><td>STA. 145+67. 710 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³ 粘着力：C=0 k N/m² 内部摩擦角：φ =30. 0°</td><td>適用基準①③④ ジオテキスタイル補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 B</td><td>STA. 148+40. 480</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³</td><td>適用基準①③④</td></tr></table>	単価表の項目	補強材の基準強度	摘要	段差抑制工 A	74kN/m 以上	伸び率 7%以上	特－（２）	単価表の項目	検測の単位	段差抑制工 A	m²	単価表の項目	設置箇所	盛土材の設計条件	摘要	補強土壁工 A	STA. 145+67. 710 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³ 粘着力：C=0 k N/m² 内部摩擦角：φ =30. 0°	適用基準①③④ ジオテキスタイル補強土壁	補強土壁工 B	STA. 148+40. 480	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³	適用基準①③④	<p>2 7－1 8 段差抑制工</p> <p>(1)定義 段差抑制工とは、ボックスカルバートと土工部との境界部において、地盤沈下による舗装路面での段差発生を想定し、ボックスカルバート前後にジオテキスタイル（敷網）を敷設することをいう。</p> <p>(2)種別 敷網工の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>補強材の基準強度</th><th>摘要</th></tr><tr><td>段差抑制工 A</td><td>74kN/m 以上</td><td>伸び率 7%以上</td></tr></table> <p>(3)施工 段差抑制工の設置位置は、上部路床の中間部（舗装下面より 15cm）を基本とする。設置方向については、本線縦断方向に敷設するものとし、仮止め用アンカーピンは施工幅 2m に対して 4 本固定する。また、敷網同士の重ね合わせは行わない。敷網の連結が必要な場合は、専用の連結部材を用いて、確実に連結するものとする。</p> <p>(4)数量の検測 段差抑制工の数量の検測は、設計数量(m²)で行うものとする。</p> <p>(5)支払 段差抑制工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m²当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う敷網の敷設、仮止め用アンカーピンの打設等、敷網工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で、諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><td rowspan="2">特－（２）</td><td>単価表の項目</td><td>検測の単位</td></tr><tr><td>段差抑制工 A</td><td>m²</td></tr></table> <p>2 7－1 9 補強土壁工</p> <p>(1)定義 補強土壁工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、面状あるいは帯状の補強材を土中に敷設し、壁面材を設置することによりのり面の安定を図ることをいう。</p> <p>(2)適用すべき諸基準 ①ジオテキスタイルを用いた補強土の設計・施工マニュアル改訂版 （平成 25 年 12 月 一般財団法人 土木研究センター） ②土木施工管理要領（令和 4 年 7 月 東日本高速道路(株)） ③道路土工 擁壁工指針（平成 24 年度版 （社）日本道路協会）</p> <p>(3)種別 補強土壁工の単価表の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>設置箇所</th><th>盛土材の設計条件</th><th>摘要</th></tr><tr><td>補強土壁工 A</td><td>STA. 145+67. 710 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³ 粘着力：C=0 k N/m² 内部摩擦角：φ =30. 0°</td><td>適用基準①②③ ジオテキスタイル補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 B</td><td>STA. 148+40. 480 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³ 粘着力：C=0 k N/m² 内部摩擦角：φ =30. 0°</td><td>適用基準①②③ ジオテキスタイル補強土壁</td></tr></table>	単価表の項目	補強材の基準強度	摘要	段差抑制工 A	74kN/m 以上	伸び率 7%以上	特－（２）	単価表の項目	検測の単位	段差抑制工 A	m²	単価表の項目	設置箇所	盛土材の設計条件	摘要	補強土壁工 A	STA. 145+67. 710 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³ 粘着力：C=0 k N/m² 内部摩擦角：φ =30. 0°	適用基準①②③ ジオテキスタイル補強土壁	補強土壁工 B	STA. 148+40. 480 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³ 粘着力：C=0 k N/m² 内部摩擦角：φ =30. 0°	適用基準①②③ ジオテキスタイル補強土壁	訂正
単価表の項目	補強材の基準強度	摘要																																															
段差抑制工 A	74kN/m 以上	伸び率 7%以上																																															
特－（２）	単価表の項目	検測の単位																																															
	段差抑制工 A	m²																																															
単価表の項目	設置箇所	盛土材の設計条件	摘要																																														
補強土壁工 A	STA. 145+67. 710 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³ 粘着力：C=0 k N/m² 内部摩擦角：φ =30. 0°	適用基準①③④ ジオテキスタイル補強土壁																																														
補強土壁工 B	STA. 148+40. 480	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³	適用基準①③④																																														
単価表の項目	補強材の基準強度	摘要																																															
段差抑制工 A	74kN/m 以上	伸び率 7%以上																																															
特－（２）	単価表の項目	検測の単位																																															
	段差抑制工 A	m²																																															
単価表の項目	設置箇所	盛土材の設計条件	摘要																																														
補強土壁工 A	STA. 145+67. 710 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³ 粘着力：C=0 k N/m² 内部摩擦角：φ =30. 0°	適用基準①②③ ジオテキスタイル補強土壁																																														
補強土壁工 B	STA. 148+40. 480 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/m³ 粘着力：C=0 k N/m² 内部摩擦角：φ =30. 0°	適用基準①②③ ジオテキスタイル補強土壁																																														



対象	誤				正				備考																																																							
特記仕様書									訂正																																																							
27-19 補強土壁工	<table><tr><td>B</td><td>C-Bx 巻込部</td><td>粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30.0°</td><td>ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 C</td><td>STA. 158+96. 892 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 D</td><td>STA. 159+84. 303 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 E</td><td>STA. 160+43. 250 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 F</td><td>STA. 163+19. 000 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 G</td><td>STA. 149+46. 500 請戸川橋下り線A 1 橋台 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準②③④ アデムウォール</td></tr><tr><td>補強土壁工 H</td><td>STA. 150+50. 500 請戸川橋下り線A 2 橋台 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準②③④ アデムウォール</td></tr></table>				B	C-Bx 巻込部	粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30.0°	ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 C	STA. 158+96. 892 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 D	STA. 159+84. 303 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 E	STA. 160+43. 250 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 F	STA. 163+19. 000 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 G	STA. 149+46. 500 請戸川橋下り線A 1 橋台 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準②③④ アデムウォール	補強土壁工 H	STA. 150+50. 500 請戸川橋下り線A 2 橋台 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準②③④ アデムウォール	<table><tr><td>補強土壁工 C</td><td>STA. 158+96. 892 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 D</td><td>STA. 159+84. 303 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 E</td><td>STA. 160+43. 250 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 F</td><td>STA. 163+19. 000 C-Bx 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 G</td><td>STA. 149+46. 500 請戸川橋下り線A 1 橋台 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr><tr><td>補強土壁工 H</td><td>STA. 150+50. 500 請戸川橋下り線A 2 橋台 巻込部</td><td>単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°</td><td>適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁</td></tr></table>				補強土壁工 C	STA. 158+96. 892 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 D	STA. 159+84. 303 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 E	STA. 160+43. 250 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 F	STA. 163+19. 000 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 G	STA. 149+46. 500 請戸川橋下り線A 1 橋台 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	補強土壁工 H	STA. 150+50. 500 請戸川橋下り線A 2 橋台 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁	(4)材料 1) 補強土壁工A～Fに使用する材料は、設計図書及び監督員の指示によるほか、適用すべき基準①の規定によるものとする。 2) 補強土壁工G～Hに使用する材料は、設計図書及び監督員の指示によるほか、適用すべき基準②の規定によるものとする。 3) 補強土壁工の背面に使用する盛土材料は、再生クラッシャーラン（RC－40）とし、本特記仕様書27－4－2構造物裏込め工で支払を行う。 4) 補強土壁工に使用するコンクリート、型わく、鉄筋は共通仕様書第8章の規定に適合する材料でなければならない。 (5)施工 1) 補強土壁工A～Fの施工は、設計図書及び監督員の指示によるほか、適用すべき基準①に基づき施工するものとする。 2) 補強土壁工G～Hの施工は、設計図書及び監督員の指示によるほか、適用すべき基準②に基づき施工するものとする。 3) 地山部及び掘削面に湧水が見られる場合は、受注者はその状況の調査を行い監督員に報告し、その指示に従うものとする。なお、これに要する費用は、監督員と受注者とで協議し定めるものとする。 (6)数量の検測 補強土壁工の数量の検測は、壁面積とし、設計数量(㎡)で行うものとする。 (7)支払 1) 補強土壁工A～Hの施工は、前項の規定に基づき検測された補強土壁工の数量に対し、それぞれ1㎡当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う補強材の敷設、壁面材の設置、排水工（水平排水材、ドレーン材、集水管、基盤排水層等）の施工、植生シートの設置等補強土壁工A～Hの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。			
B	C-Bx 巻込部	粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30.0°	ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 C	STA. 158+96. 892 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 D	STA. 159+84. 303 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 E	STA. 160+43. 250 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 F	STA. 163+19. 000 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①③④ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 G	STA. 149+46. 500 請戸川橋下り線A 1 橋台 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準②③④ アデムウォール																																																													
補強土壁工 H	STA. 150+50. 500 請戸川橋下り線A 2 橋台 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準②③④ アデムウォール																																																													
補強土壁工 C	STA. 158+96. 892 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 D	STA. 159+84. 303 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 E	STA. 160+43. 250 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 F	STA. 163+19. 000 C-Bx 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 G	STA. 149+46. 500 請戸川橋下り線A 1 橋台 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
補強土壁工 H	STA. 150+50. 500 請戸川橋下り線A 2 橋台 巻込部	単位体積重量：γ t=19. 0 k N/㎡³ 粘着力：C=0 k N/㎡ 内部摩擦角：φ=30. 0°	適用基準①②③ ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁																																																													
	<table><tr><td></td><td>単価表の項目</td><td>検測の単位</td></tr><tr><td>特－（3）</td><td>補強土壁工 A～H</td><td>㎡</td></tr></table>					単価表の項目	検測の単位	特－（3）	補強土壁工 A～H	㎡	<table><tr><td></td><td>単価表の項目</td><td>検測の単位</td></tr><tr><td>特－（3）</td><td>補強土壁工 A～H</td><td>㎡</td></tr></table>					単価表の項目	検測の単位	特－（3）	補強土壁工 A～H	㎡	27－20 油水分離ます (1)定義 油水分離ますとは、設計図書及び監督員の指示に従って、油分流出防止のために油分と水を分離させるためのますを設置するものをいう。																																											
	単価表の項目	検測の単位																																																														
特－（3）	補強土壁工 A～H	㎡																																																														
	単価表の項目	検測の単位																																																														
特－（3）	補強土壁工 A～H	㎡																																																														
	46				46																																																											



対象	誤	正	備考																																								
特記仕様書 27-22階段工	<div>2 7－2 2 階段工</div> <div>(1)定義 階段工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、のり面点検用階段を設置することをいう。</div> <div>(2)種別 階段工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>摘要</th></tr><tr><td rowspan="2">階段工 A</td><td>階段部 ステップ高さ 250mm ステップ幅 600mm 角材付</td><td></td></tr><tr><td>手すり部 片側 1 段 手すり高さ 1,320mm 階段本体取付タイプ</td><td></td></tr></table> <div>(3)材料 階段工に使用する材料は次のとおりとし、使用にあたっては監督員の確認を得るものとする。</div> <table><tr><th>項目</th><th>規格・仕様</th></tr><tr><td>ステップ、角材、角杭</td><td>再生プラスチック</td></tr><tr><td>スクリュー釘、ボルト、ホールインアンカー</td><td>ステンレス製</td></tr><tr><td>メッキ棒鋼</td><td>φ 10×500mm</td></tr><tr><td>基礎くい</td><td>JIS G 3444 STK400 φ =101.6mm、t=3.2mm L=600mm 防錆処理 溶融亜鉛めっき HDZT77（片面）</td></tr><tr><td>支柱</td><td>JIS G 3444 STK400 静電粉体塗装 φ =60.5mm、t=3.2mm 支柱間隔 3m</td></tr><tr><td>手すり</td><td>JIS G 3444 STK400 静電粉体塗装 φ =42.7mm、t=2.3mm</td></tr></table> <div>(4)施工 階段工の施工については、のり面等のきょう雑物を取除き整形を行い、ずれが生じないよう設置、固定を行うものとする。</div> <div>(5)数量の検測 階段工の数量の検測は、設計数量(m)で行うものとする。</div> <div>(6)支払 階段工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1m 当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う階段及び手すりの設置に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成させるために必要な費用で、諸経費に含まれるものを除く全ての費用を含むものとする。</div> <div><div>特－（６）</div><div><div>単価表の項目</div><div>階段工 A</div></div><div><div>検測の単位</div><div>m</div></div></div> <div>49</div>	単価表の項目	区分内容	摘要	階段工 A	階段部 ステップ高さ 250mm ステップ幅 600mm 角材付		手すり部 片側 1 段 手すり高さ 1,320mm 階段本体取付タイプ		項目	規格・仕様	ステップ、角材、角杭	再生プラスチック	スクリュー釘、ボルト、ホールインアンカー	ステンレス製	メッキ棒鋼	φ 10×500mm	基礎くい	JIS G 3444 STK400 φ =101.6mm、t=3.2mm L=600mm 防錆処理 溶融亜鉛めっき HDZT77（片面）	支柱	JIS G 3444 STK400 静電粉体塗装 φ =60.5mm、t=3.2mm 支柱間隔 3m	手すり	JIS G 3444 STK400 静電粉体塗装 φ =42.7mm、t=2.3mm	<div>2 7－2 2 階段工</div> <div>(1)定義 階段工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、のり面点検用階段を設置することをいう。</div> <div>(2)種別 階段工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>摘要</th></tr><tr><td rowspan="2">階段工 A</td><td>階段部 ステップ高さ 110mm、140 mm、175 mm ステップ幅 600mm 角材付</td><td></td></tr><tr><td>手すり部 片側 1 段 手すり高さ 1,320mm 階段本体取付タイプ</td><td></td></tr></table> <div>(3)材料 階段工に使用する材料は次のとおりとし、使用にあたっては監督員の確認を得るものとする。</div> <table><tr><th>項目</th><th>規格・仕様</th></tr><tr><td>ステップ、角材、角杭</td><td>再生プラスチック</td></tr><tr><td>ボルト・ナット</td><td>溶融亜鉛メッキ</td></tr><tr><td>支柱</td><td>JIS G 3444 STK400 溶融亜鉛メッキ＋ポリエステル粉体塗装 φ =60.5mm、t=3.2mm 支柱間隔 2m</td></tr><tr><td>手すり</td><td>JIS G 3444 STK400 溶融亜鉛メッキ＋ポリエステル粉体塗装 φ =42.7mm、t=2.3mm</td></tr></table> <div>(4)施工 階段工の施工については、のり面等のきょう雑物を取除き整形を行い、ずれが生じないよう設置、固定を行うものとする。</div> <div>(5)数量の検測 階段工の数量の検測は、設計数量(m)で行うものとする。</div> <div>(6)支払 階段工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1m 当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う階段及び手すりの設置に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成させるために必要な費用で、諸経費に含まれるものを除く全ての費用を含むものとする。</div> <div><div>特－（６）</div><div><div>単価表の項目</div><div>階段工 A</div></div><div><div>検測の単位</div><div>m</div></div></div> <div>2 7－2 3 仮設防護柵工</div> <div>(1)定義 仮設防護柵工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、現在供用している常磐自動車道の路肩へ仮設ガードレールの設置を行うことをいう。</div> <div>49</div>	単価表の項目	区分内容	摘要	階段工 A	階段部 ステップ高さ 110mm、140 mm、175 mm ステップ幅 600mm 角材付		手すり部 片側 1 段 手すり高さ 1,320mm 階段本体取付タイプ		項目	規格・仕様	ステップ、角材、角杭	再生プラスチック	ボルト・ナット	溶融亜鉛メッキ	支柱	JIS G 3444 STK400 溶融亜鉛メッキ＋ポリエステル粉体塗装 φ =60.5mm、t=3.2mm 支柱間隔 2m	手すり	JIS G 3444 STK400 溶融亜鉛メッキ＋ポリエステル粉体塗装 φ =42.7mm、t=2.3mm	訂正
単価表の項目	区分内容	摘要																																									
階段工 A	階段部 ステップ高さ 250mm ステップ幅 600mm 角材付																																										
	手すり部 片側 1 段 手すり高さ 1,320mm 階段本体取付タイプ																																										
項目	規格・仕様																																										
ステップ、角材、角杭	再生プラスチック																																										
スクリュー釘、ボルト、ホールインアンカー	ステンレス製																																										
メッキ棒鋼	φ 10×500mm																																										
基礎くい	JIS G 3444 STK400 φ =101.6mm、t=3.2mm L=600mm 防錆処理 溶融亜鉛めっき HDZT77（片面）																																										
支柱	JIS G 3444 STK400 静電粉体塗装 φ =60.5mm、t=3.2mm 支柱間隔 3m																																										
手すり	JIS G 3444 STK400 静電粉体塗装 φ =42.7mm、t=2.3mm																																										
単価表の項目	区分内容	摘要																																									
階段工 A	階段部 ステップ高さ 110mm、140 mm、175 mm ステップ幅 600mm 角材付																																										
	手すり部 片側 1 段 手すり高さ 1,320mm 階段本体取付タイプ																																										
項目	規格・仕様																																										
ステップ、角材、角杭	再生プラスチック																																										
ボルト・ナット	溶融亜鉛メッキ																																										
支柱	JIS G 3444 STK400 溶融亜鉛メッキ＋ポリエステル粉体塗装 φ =60.5mm、t=3.2mm 支柱間隔 2m																																										
手すり	JIS G 3444 STK400 溶融亜鉛メッキ＋ポリエステル粉体塗装 φ =42.7mm、t=2.3mm																																										

対象	誤	正	備考																																				
特記仕様書 27-23 仮設防護柵工	<p>2 7－2 3 仮設防護柵工</p> <p>(1) 定義 仮設防護柵工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、現在供用している常磐自動車道の路肩へ仮設ガードレールの設置を行うことをいう。</p> <p>(2) 種別 仮設防護柵工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>摘要</th></tr><tr><td>仮設防護柵工 仮設ガードレール設置</td><td>浪江仮置場から常磐自動車道 233. 083 K P～235. 723 K P（下り線）の範囲内での仮設ガードレールの積込、運搬、設置</td><td></td></tr></table> <p>(3) 材料 仮設ガードレールは支給品とし、設計図書及び監督員の指示によるものとする。 仮設ガードレール設置におけるガードレールの材料は、A 種とする。</p> <p>(4) 防錆処理 仮設防護柵工に使用するガードレールビーム・支柱及び付属品の防錆処理については、共通仕様書第 1 5 章「交通安全施設工」 1 5－3－4 によるものとする。</p> <p>(5) 施工 H 鋼基礎は、設計図書及び監督員の指示に従い正しい位置、及び線形が得られるように配置する。</p> <p>(6) 数量の検測 仮設防護柵工の数量の検測は、設計数量 (m) とする。</p> <p>(7) 支払 仮設防護柵工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1m 当りの契約単価で行うものとする。この単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う、仮設ガードレールの位置出し・積込・運搬・設置等、仮設防護柵工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を行うために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特－（7）</td><td>仮設防護柵工 仮設ガードレール設置</td><td>m</td></tr></table> <p>2 7－2 4 工事用進入路整備工</p> <p>(1) 定義 工事用進入路整備工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、請戸川橋 A 1 橋台及び P 1 橋脚施工箇所における工事用進入路の築造・撤去及び大型土のうの製作・設置・撤去をいう。</p> <p>(2) 種別 工事用進入路整備工の単価表の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>摘要</th></tr><tr><td>工事用進入路整備工</td><td>1) 請戸川橋 A 1 橋台及び P 1 橋脚施工箇所の仮設工事用進入路及び仮締切堤の築造・撤去 2) 大型土のう（1 年対候性）の製作・設置・撤去</td><td>仮道路（大規模）</td></tr></table> <p>上記 1)、2) に使用する土砂は本特記仕様書 7 に示す木戸川橋仮置場の土砂を使用する。ただし、仮置場からの土砂の積込み、運搬及び撤去後の本線盛土の費用については本仕様書 2 7－2－2 に示す客土掘削土砂 A 2 に含まれるため、別途計上しないものとする。</p>	単価表の項目	区分内容	摘要	仮設防護柵工 仮設ガードレール設置	浪江仮置場から常磐自動車道 233. 083 K P～235. 723 K P（下り線）の範囲内での仮設ガードレールの積込、運搬、設置			単価表の項目	検測の単位	特－（7）	仮設防護柵工 仮設ガードレール設置	m	単価表の項目	区分内容	摘要	工事用進入路整備工	1) 請戸川橋 A 1 橋台及び P 1 橋脚施工箇所の仮設工事用進入路及び仮締切堤の築造・撤去 2) 大型土のう（1 年対候性）の製作・設置・撤去	仮道路（大規模）	<p>(2) 種別 仮設防護柵工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>摘要</th></tr><tr><td>仮設防護柵工 仮設ガードレール設置</td><td>浪江仮置場から常磐自動車道 233. 083 K P～235. 723 K P（下り線）の範囲内での仮設ガードレールの積込、運搬、設置</td><td></td></tr></table> <p>(3) 材料 仮設ガードレールは支給品とし、設計図書及び監督員の指示によるものとする。 仮設ガードレール設置におけるガードレールの材料は、A 種とする。</p> <p>(4) 施工 H 鋼基礎は、設計図書及び監督員の指示に従い正しい位置、及び線形が得られるように配置する。</p> <p>(5) 数量の検測 仮設防護柵工の数量の検測は、設計数量 (m) とする。</p> <p>(6) 支払 仮設防護柵工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1m 当りの契約単価で行うものとする。この単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う、仮設ガードレールの位置出し・積込・運搬・設置等、仮設防護柵工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を行うために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特－（7）</td><td>仮設防護柵工 仮設ガードレール設置</td><td>m</td></tr></table> <p>2 7－2 4 工事用進入路整備工</p> <p>(1) 定義 工事用進入路整備工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、請戸川橋 A 1 橋台及び P 1 橋脚施工箇所における工事用進入路の築造・撤去及び大型土のうの製作・設置・撤去をいう。</p> <p>(2) 種別 工事用進入路整備工の単価表の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>摘要</th></tr><tr><td>工事用進入路整備工</td><td>1) 請戸川橋 A 1 橋台及び P 1 橋脚施工箇所の仮設工事用進入路及び仮締切堤の築造・撤去 2) 大型土のう（1 年対候性）の製作・設置・撤去</td><td>仮道路（大規模）</td></tr></table> <p>上記 1)、2) に使用する土砂は本特記仕様書 7 に示す木戸川橋仮置場の土砂を使用する。ただし、仮置場からの土砂の積込み、運搬及び撤去後の本線盛土の費用については本仕様書 2 7－2－2 に示す客土掘削土砂 A 2 に含まれるため、別途計上しないものとする。</p> <p>(3) 施工 工事用進入路整備工の施工は、共通仕様書 2－4 及び 2－6－5 の規定に従い行うものとする。 大型土のうの設置は下段 2 袋、上段 1 袋の 2 段積みとする。</p> <p>(4) 数量の検測 工事用進入路整備工の数量の検測は、設計数量（箇所）で行うものとする。</p>	単価表の項目	区分内容	摘要	仮設防護柵工 仮設ガードレール設置	浪江仮置場から常磐自動車道 233. 083 K P～235. 723 K P（下り線）の範囲内での仮設ガードレールの積込、運搬、設置			単価表の項目	検測の単位	特－（7）	仮設防護柵工 仮設ガードレール設置	m	単価表の項目	区分内容	摘要	工事用進入路整備工	1) 請戸川橋 A 1 橋台及び P 1 橋脚施工箇所の仮設工事用進入路及び仮締切堤の築造・撤去 2) 大型土のう（1 年対候性）の製作・設置・撤去	仮道路（大規模）	訂正
単価表の項目	区分内容	摘要																																					
仮設防護柵工 仮設ガードレール設置	浪江仮置場から常磐自動車道 233. 083 K P～235. 723 K P（下り線）の範囲内での仮設ガードレールの積込、運搬、設置																																						
	単価表の項目	検測の単位																																					
特－（7）	仮設防護柵工 仮設ガードレール設置	m																																					
単価表の項目	区分内容	摘要																																					
工事用進入路整備工	1) 請戸川橋 A 1 橋台及び P 1 橋脚施工箇所の仮設工事用進入路及び仮締切堤の築造・撤去 2) 大型土のう（1 年対候性）の製作・設置・撤去	仮道路（大規模）																																					
単価表の項目	区分内容	摘要																																					
仮設防護柵工 仮設ガードレール設置	浪江仮置場から常磐自動車道 233. 083 K P～235. 723 K P（下り線）の範囲内での仮設ガードレールの積込、運搬、設置																																						
	単価表の項目	検測の単位																																					
特－（7）	仮設防護柵工 仮設ガードレール設置	m																																					
単価表の項目	区分内容	摘要																																					
工事用進入路整備工	1) 請戸川橋 A 1 橋台及び P 1 橋脚施工箇所の仮設工事用進入路及び仮締切堤の築造・撤去 2) 大型土のう（1 年対候性）の製作・設置・撤去	仮道路（大規模）																																					

50

50



対象	誤	正	備考																																																																														
特記仕様書 27-27 割掛対象表の項目に示す工事の内容	<p>2 7－2 6 撤去工</p> <p>(1) 定義 撤去工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、既設構造物の撤去を行うことをいう。</p> <p>(2) 種別 撤去工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>設計図に示す記号</th></tr><tr><td>撤去工 防草シート</td><td>本線既設防草シートについて、撤去を行うもの</td><td>防草シート</td></tr><tr><td>撤去工 P（P o－B）</td><td>本線既設ポリエチレンパイプカルバートについて、撤去を行うもの</td><td>P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B) P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B)</td></tr><tr><td>撤去工 立入防止柵</td><td>本線既設立入防止柵ついて、撤去を行うもの</td><td>立入防止柵 一般型非積雪地用</td></tr></table> <p>(3) 施工 撤去工により撤去した材料の引渡し場所は、本特記仕様書 1 4－1「発生する残存物件と引き渡し方法」の規定によるものとするが、撤去から引渡しまでの間、撤去位置に近接した範囲に散逸することのないような措置をして仮置きするなど、隣接及び周辺に影響及び危険がおよばないよう細心の注意を払うものとする。</p> <p>(4) 数量の検測 数量の検測は、設計数量(㎡、m)で行うものとする。</p> <p>(5) 支払 撤去工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ 1 ㎡、1m 当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う既設構造物の撤去等撤去工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれているものを除く全ての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特－（1 0）</td><td>撤去工</td><td></td></tr><tr><td></td><td>防草シート</td><td>㎡</td></tr><tr><td></td><td>P（P o－B）</td><td>m</td></tr><tr><td></td><td>立入防止柵</td><td>m</td></tr></table> <p>2 7－2 7 割掛対象表の項目に示す工事の内容 割掛対象表の項目に示す工事の内容は、共通仕様書第 1 章「表 1－3 割掛対象表の項目に示す工事の内容」による他、次のとおりとする。</p> <p>【共通仮設費】</p> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th></tr><tr><td>工事用機械分解組立費（土工）</td><td>土工施工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費（クローラクレーン）</td><td>クローラクレーンの分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費（硬質地盤専用圧入機）</td><td>硬質地盤専用圧入機の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費（基礎杭工）</td><td>基礎杭工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>有料道路料金費</td><td>路肩規制の施工において必要となる有料走路の通行料金の費用をいう。</td></tr></table>	単価表の項目	区分内容	設計図に示す記号	撤去工 防草シート	本線既設防草シートについて、撤去を行うもの	防草シート	撤去工 P（P o－B）	本線既設ポリエチレンパイプカルバートについて、撤去を行うもの	P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B) P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B)	撤去工 立入防止柵	本線既設立入防止柵ついて、撤去を行うもの	立入防止柵 一般型非積雪地用		単価表の項目	検測の単位	特－（1 0）	撤去工			防草シート	㎡		P（P o－B）	m		立入防止柵	m	割掛対象表の項目名称	工事の内容	工事用機械分解組立費（土工）	土工施工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費（クローラクレーン）	クローラクレーンの分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費（硬質地盤専用圧入機）	硬質地盤専用圧入機の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費（基礎杭工）	基礎杭工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	有料道路料金費	路肩規制の施工において必要となる有料走路の通行料金の費用をいう。	<p>(2) 種別 撤去工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>設計図に示す記号</th></tr><tr><td>撤去工 防草シート</td><td>本線既設防草シートについて、撤去を行うもの</td><td>防草シート</td></tr><tr><td>撤去工 P（P o－B）</td><td>本線既設ポリエチレンパイプカルバートについて、撤去を行うもの</td><td>P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B) P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B)</td></tr><tr><td>撤去工 立入防止柵</td><td>本線既設立入防止柵ついて、撤去を行うもの</td><td>立入防止柵 一般型非積雪地用</td></tr></table> <p>(3) 施工 撤去工により撤去した材料の引渡し場所は、本特記仕様書 1 4－1「発生する残存物件と引き渡し方法」の規定によるものとするが、撤去から引渡しまでの間、撤去位置に近接した範囲に散逸することのないような措置をして仮置きするなど、隣接及び周辺に影響及び危険がおよばないよう細心の注意を払うものとする。</p> <p>(4) 数量の検測 数量の検測は、設計数量(㎡、m)で行うものとする。</p> <p>(5) 支払 撤去工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ 1 ㎡、1m 当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う既設構造物の撤去等撤去工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれているものを除く全ての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th></th><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特－（1 0）</td><td>撤去工</td><td></td></tr><tr><td></td><td>防草シート</td><td>㎡</td></tr><tr><td></td><td>P（P o－B）</td><td>m</td></tr><tr><td></td><td>立入防止柵</td><td>m</td></tr></table> <p>2 7－2 7 割掛対象表の項目に示す工事の内容 割掛対象表の項目に示す工事の内容は、共通仕様書第 1 章「表 1－3 割掛対象表の項目に示す工事の内容」による他、次のとおりとする。</p> <p>【共通仮設費】</p> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th></tr><tr><td>工事用機械分解組立費（土工）</td><td>土工施工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費（クローラクレーン）</td><td>クローラクレーンの分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費（硬質地盤専用圧入機）</td><td>硬質地盤専用圧入機の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>工事用機械分解組立費（基礎杭工）</td><td>基礎杭工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>有料道路料金費</td><td>路肩規制の施工において必要となる有料走路の通行料金の費用をいう。</td></tr></table>	単価表の項目	区分内容	設計図に示す記号	撤去工 防草シート	本線既設防草シートについて、撤去を行うもの	防草シート	撤去工 P（P o－B）	本線既設ポリエチレンパイプカルバートについて、撤去を行うもの	P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B) P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B)	撤去工 立入防止柵	本線既設立入防止柵ついて、撤去を行うもの	立入防止柵 一般型非積雪地用		単価表の項目	検測の単位	特－（1 0）	撤去工			防草シート	㎡		P（P o－B）	m		立入防止柵	m	割掛対象表の項目名称	工事の内容	工事用機械分解組立費（土工）	土工施工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費（クローラクレーン）	クローラクレーンの分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費（硬質地盤専用圧入機）	硬質地盤専用圧入機の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	工事用機械分解組立費（基礎杭工）	基礎杭工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	有料道路料金費	路肩規制の施工において必要となる有料走路の通行料金の費用をいう。	訂正
単価表の項目	区分内容	設計図に示す記号																																																																															
撤去工 防草シート	本線既設防草シートについて、撤去を行うもの	防草シート																																																																															
撤去工 P（P o－B）	本線既設ポリエチレンパイプカルバートについて、撤去を行うもの	P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B) P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B)																																																																															
撤去工 立入防止柵	本線既設立入防止柵ついて、撤去を行うもの	立入防止柵 一般型非積雪地用																																																																															
	単価表の項目	検測の単位																																																																															
特－（1 0）	撤去工																																																																																
	防草シート	㎡																																																																															
	P（P o－B）	m																																																																															
	立入防止柵	m																																																																															
割掛対象表の項目名称	工事の内容																																																																																
工事用機械分解組立費（土工）	土工施工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。																																																																																
工事用機械分解組立費（クローラクレーン）	クローラクレーンの分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。																																																																																
工事用機械分解組立費（硬質地盤専用圧入機）	硬質地盤専用圧入機の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。																																																																																
工事用機械分解組立費（基礎杭工）	基礎杭工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。																																																																																
有料道路料金費	路肩規制の施工において必要となる有料走路の通行料金の費用をいう。																																																																																
単価表の項目	区分内容	設計図に示す記号																																																																															
撤去工 防草シート	本線既設防草シートについて、撤去を行うもの	防草シート																																																																															
撤去工 P（P o－B）	本線既設ポリエチレンパイプカルバートについて、撤去を行うもの	P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B) P (Po-B)－φ 0. 40 (Sd-B)																																																																															
撤去工 立入防止柵	本線既設立入防止柵ついて、撤去を行うもの	立入防止柵 一般型非積雪地用																																																																															
	単価表の項目	検測の単位																																																																															
特－（1 0）	撤去工																																																																																
	防草シート	㎡																																																																															
	P（P o－B）	m																																																																															
	立入防止柵	m																																																																															
割掛対象表の項目名称	工事の内容																																																																																
工事用機械分解組立費（土工）	土工施工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。																																																																																
工事用機械分解組立費（クローラクレーン）	クローラクレーンの分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。																																																																																
工事用機械分解組立費（硬質地盤専用圧入機）	硬質地盤専用圧入機の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。																																																																																
工事用機械分解組立費（基礎杭工）	基礎杭工の重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。																																																																																
有料道路料金費	路肩規制の施工において必要となる有料走路の通行料金の費用をいう。																																																																																
	52	52																																																																															

対象

金抜設計書  
番号6  
2-(6)構造物掘削普通部

誤

\_\_\_\_\_B- 1 頁

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	2 - ( 2 )	道路掘削 土砂	12,565	m³			
2	2 - ( 2 )	道路掘削 土砂 (表土)	5,870	m³			
3	2 - ( 3 )	客土掘削 土砂 A 1	69,752	m³			
4	2 - ( 3 )	客土掘削 土砂 A 2	13,800	m³			
5	2 - ( 5 )	盛土工 盛土工 A	8,481	m³			
6	2 - ( 6 )	構造物掘削 普通部	5,365	m³			
7	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 1	1,263	m³			
8	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 2	1,353	m³			
9	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 3	953	m³			
10	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 4	932	m³			
11	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 5	383	m³			
12	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 6	1,087	m³			

\_\_\_\_\_頁

正

\_\_\_\_\_B- 1 頁

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	2 - ( 2 )	道路掘削 土砂	12,565	m³			
2	2 - ( 2 )	道路掘削 土砂 (表土)	5,870	m³			
3	2 - ( 3 )	客土掘削 土砂 A 1	69,752	m³			
4	2 - ( 3 )	客土掘削 土砂 A 2	13,800	m³			
5	2 - ( 5 )	盛土工 盛土工 A	8,481	m³			
6	2 - ( 6 )	構造物掘削 普通部	5,274	m³			
7	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 1	1,263	m³			
8	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 2	1,353	m³			
9	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 3	953	m³			
10	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 4	932	m³			
11	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 5	383	m³			
12	2 - ( 6 )	構造物掘削 特殊部 A 6	1,087	m³			

\_\_\_\_\_頁

備考  
訂正

対象

金抜設計書  
番号16  
2-(7)構造物裏込め工  
裏込め工B

誤

単価表

番号	項目番号	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
13	2-(6)	構造物掘削 特殊部B 1	1,695	m³			
14	2-(6)	構造物掘削 特殊部B 2	1,066	m³			
15	2-(6)	構造物掘削 特殊部B 3	1,397	m³			
16	2-(7)	構造物裏込め工 裏込め工B	11,234	m³			
17	2-(8)	基礎材 B	184	m³			
18	4-(3)	種散布工	22,421	m²			
19	4-(4)	種吹付工 種吹付A (人工基材)	1,760	m²			
20	4-(14)	コンクリートブロック積工 コンクリートブロック積み(練) 控3 5cm	782	m²			
21	4-(16)	裏込め碎石	224	m³			
22	4-(17)	基礎工 コンクリート基礎工A	292	m			
23	5-(1)	用・排水溝 P u L (3) ・0. 3 0 ・0. 3 0 (R)	23	m			
24	5-(1)	用・排水溝 P u L (3) ・0. 4 0 ・0. 5 0 (R)	21	m			

正

単価表

番号	項目番号	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
13	2-(6)	構造物掘削 特殊部B 1	1,695	m³			
14	2-(6)	構造物掘削 特殊部B 2	1,066	m³			
15	2-(6)	構造物掘削 特殊部B 3	1,397	m³			
16	2-(7)	構造物裏込め工 裏込め工B	7,992	m³			
17	2-(8)	基礎材 B	184	m³			
18	4-(3)	種散布工	22,421	m²			
19	4-(4)	種吹付工 種吹付A (人工基材)	1,760	m²			
20	4-(14)	コンクリートブロック積工 コンクリートブロック積み(練) 控3 5cm	782	m²			
21	4-(16)	裏込め碎石	224	m³			
22	4-(17)	基礎工 コンクリート基礎工A	292	m			
23	5-(1)	用・排水溝 P u L (3) ・0. 3 0 ・0. 3 0 (R)	23	m			
24	5-(1)	用・排水溝 P u L (3) ・0. 4 0 ・0. 5 0 (R)	21	m			

頁

備考  
訂正



対象

金抜設計書  
番号114  
特-(3)補強土壁工G

誤

単価表

番号	項目番号	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
109	特-(3)	補強土壁工 B	148	m <sup>2</sup>			
110	特-(3)	補強土壁工 C	66	m <sup>2</sup>			
111	特-(3)	補強土壁工 D	65	m <sup>2</sup>			
112	特-(3)	補強土壁工 E	25	m <sup>2</sup>			
113	特-(3)	補強土壁工 F	65	m <sup>2</sup>			
114	特-(3)	補強土壁工 G	106	m <sup>2</sup>			
115	特-(3)	補強土壁工 H	137	m <sup>2</sup>			
116	特-(4)	油水分離ます Type C1	3	箇所			
117	特-(4)	油水分離ます Type C2	2	箇所			
118	特-(4)	油水分離ます Type C3	1	箇所			
119	特-(4)	油水分離ます Type D1	1	箇所			
120	特-(5)	転落防止柵工 A	60	m			

頁

正

単価表

番号	項目番号	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
109	特-(3)	補強土壁工 B	148	m <sup>2</sup>			
110	特-(3)	補強土壁工 C	66	m <sup>2</sup>			
111	特-(3)	補強土壁工 D	65	m <sup>2</sup>			
112	特-(3)	補強土壁工 E	25	m <sup>2</sup>			
113	特-(3)	補強土壁工 F	65	m <sup>2</sup>			
114	特-(3)	補強土壁工 G	57	m <sup>2</sup>			
115	特-(3)	補強土壁工 H	137	m <sup>2</sup>			
116	特-(4)	油水分離ます Type C1	3	箇所			
117	特-(4)	油水分離ます Type C2	2	箇所			
118	特-(4)	油水分離ます Type C3	1	箇所			
119	特-(4)	油水分離ます Type D1	1	箇所			
120	特-(5)	転落防止柵工 A	60	m			

頁

備考  
訂正

対象	誤																		備考
金抜設数量明細表計書 番号6 2-(6)構造物掘削普通部	数 量 明 細 表(1)																		訂正
番号16 2-(7)構造物裏込め工 裏込め工B	番号	名称及び測点	1 2-(2)	2 2-(2)	3 2-(3)	4 2-(3)	5 2-(5)	6 2-(6)	7 2-(6)	8 2-(6)	9 2-(6)	10 2-(6)	11 2-(6)	12 2-(6)	13 2-(6)	14 2-(6)	15 2-(6)	16 2-(7)	17 2-(8)
			道路掘削	道路掘削	客土掘削	客土掘削	盛土工	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物裏込め工	基礎材
			土砂	土砂(表土)	土砂A1	土砂A2	盛土工A	普通部	特殊部A1	特殊部A2	特殊部A3	特殊部A4	特殊部A5	特殊部A6	特殊部B1	特殊部B2	特殊部B3	裏込め工B	B
			m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3
	1	土工	12,565.0	5,869.5	69,751.8	13,800.0	8,480.5												
	2	のり面工					5,116.1										6,288.5		
	3	ブロック積工																	
	4	用排水構造物工																	
	5	溝渠工					248.6	1,262.7	1,353.4	952.5	932.3	383.3	1,087.4					3,844.2	176.1
	6	請戸川橋下部工												1,694.6	1,066.4	1,397.2	1,100.9	8.2	
	7	雑工																	
		合 計	12,565.0	5,869.5	69,751.8	13,800.0	8,480.5	5,364.7	1,262.7	1,353.4	952.5	932.3	383.3	1,087.4	1,694.6	1,066.4	1,397.2	11,233.6	184.3
正																			
数 量 明 細 表(1)																			
	番号	名称及び測点	1 2-(2)	2 2-(2)	3 2-(3)	4 2-(3)	5 2-(5)	6 2-(6)	7 2-(6)	8 2-(6)	9 2-(6)	10 2-(6)	11 2-(6)	12 2-(6)	13 2-(6)	14 2-(6)	15 2-(6)	16 2-(7)	17 2-(8)
			道路掘削	道路掘削	客土掘削	客土掘削	盛土工	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物掘削	構造物裏込め工	基礎材
			土砂	土砂(表土)	土砂A1	土砂A2	盛土工A	普通部	特殊部A1	特殊部A2	特殊部A3	特殊部A4	特殊部A5	特殊部A6	特殊部B1	特殊部B2	特殊部B3	裏込め工B	B
			m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3
	1	土工	12,565.0	5,869.5	69,751.8	13,800.0	8,480.5												
	2	のり面工					5,116.1											3,047.0	
	3	ブロック積工																	
	4	用排水構造物工																	
	5	溝渠工					158.0	1,262.7	1,353.4	952.5	932.3	383.3	1,087.4					3,844.2	176.1
	6	請戸川橋下部工												1,694.6	1,066.4	1,397.2	1,100.9	8.2	
	7	雑工																	
		合 計	12,565.0	5,869.5	69,751.8	13,800.0	8,480.5	5,274.1	1,262.7	1,353.4	952.5	932.3	383.3	1,087.4	1,694.6	1,066.4	1,397.2	7,992.1	184.3





対象	誤																						備考
割掛対象表	訂正																						
【共通仮設費】																							
工事用機械分解組立費 (クローラクレーン)																							
工事用機械分解組立費 (硬質地盤専用圧入機)																							
*** 割掛項目一覧表 ***																							
工事名) 常磐自動車道 浪江工事		◎共通仮設費	工事用機械分解組立費 (土工)	工事用機械分解組立費 (基礎杭工)	仮設材運搬費	地質調査等費	監督員詰所費	非破壊検査試験費	◎準備工事費	工事用道路維持補修費	工事車両泥落し装置費	◎仮設備工事費	足場工費	支保工費	◎雑工事費	切土部施工基面の整形費	のり面仕上げ費	構造物水抜穴費	目地材費	くい頭処理費	文承アンカーボルト箱抜費	有料道路料金費	
割掛先契約項目		固	固	固	固	固	固	固		固	固		固	固		固	固	固	固	固	固	固	
道路掘削 土砂			○				○			○	○					○	○						
道路掘削 土砂(表土)			○							○	○					○	○						
客土掘削 土砂A 1			○							○	○						○						
客土掘削 土砂A 2			○							○	○						○						
盛土工 盛土工A			○							○	○												
構造物掘削 普通部						○																	
構造物掘削 特殊部A 1					○	○																	
構造物掘削 特殊部A 2					○	○																	
構造物掘削 特殊部A 3					○	○																	
構造物掘削 特殊部A 4					○	○																	
構造物掘削 特殊部A 5					○	○																	
構造物掘削 特殊部A 6					○	○																	
構造物掘削 特殊部B 1					○									○	○				○				
構造物掘削 特殊部B 2					○	○								○									
構造物掘削 特殊部B 3					○																		
基礎杭 場所打ちコンクリート杭(機械掘削φ1. 200)				○																○			
コンクリート A 1ー3								○										○					
型わく C													○	○					○		○		
型わく D													○										
交通規制工 路肩規制 I × 1																						○	
注) 変動・固定の部分・・・〃 固” は固定先割掛を示し、空白は変動的割掛を示す。																							
正																							
*** 割掛項目一覧表 ***																							
工事名) 常磐自動車道 浪江工事		◎共通仮設費	工事用機械分解組立費 (土工)	工事用機械分解組立費 (硬質地盤専用圧入機) (クローラクレーン)	工事用機械分解組立費 (基礎杭工)	仮設材運搬費	地質調査等費	監督員詰所費	非破壊検査試験費	◎準備工事費	工事用道路維持補修費	工事車両泥落し装置費	◎仮設備工事費	足場工費	支保工費	◎雑工事費	切土部施工基面の整形費	のり面仕上げ費	構造物水抜穴費	目地材費	くい頭処理費	支承アンカーボルト箱抜費	有料道路料金費
割掛先契約項目		固	固	固	固	固	固	固	固		固	固		固	固		固	固	固	固	固	固	固
道路掘削 土砂			○					○			○	○					○	○					
道路掘削 土砂(表土)			○								○	○					○	○					
客土掘削 土砂A 1			○								○	○						○					
客土掘削 土砂A 2			○								○	○						○					
盛土工 盛土工A			○								○	○											
構造物掘削 普通部							○																
構造物掘削 特殊部A 1				○			○	○															
構造物掘削 特殊部A 2				○			○	○															
構造物掘削 特殊部A 3				○			○	○															
構造物掘削 特殊部A 4				○			○	○															
構造物掘削 特殊部A 5				○			○	○															
構造物掘削 特殊部A 6				○			○	○															
構造物掘削 特殊部B 1			○	○		○																	
構造物掘削 特殊部B 2				○		○	○																
構造物掘削 特殊部B 3			○	○		○																	
基礎杭 場所打ちコンクリート杭(機械掘削φ1. 200)					○																○		
コンクリート A 1ー3									○										○				
型わく C														○	○					○		○	
型わく D														○									
交通規制工 路肩規制 I × 1																							○
注) 変動・固定の部分・・・〃 固” は固定先割掛を示し、空白は変動的割掛を示す。																							

対象	誤				正				備考
割掛対象参考内訳書 【共通仮設費】 工事用機械分解組立費 (クローラクレーン)  工事用機械分解組立費 (硬質地盤専用圧入機)	割掛対象表参考内訳書				割掛対象表参考内訳書				訂正
	【共通仮設費】				【共通仮設費】				
	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	
	工事用機械分 解組立費（土 工）	土工施工の重建設機械の分解、組立、輸 送及び運搬時の損料または賃料に要する 費用をいう。	土工における分解・組立を要する建設機械の貨物自動車による運搬 ブルドーザ32 t 級－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道） 分解・組立を要する現場内移動－2回 湿地ブルドーザ20 t 級－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道） 分解・組立を要する現場内移動－2回 バックホウ1m³－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道） 分解・組立を要する現場内移動－2回		工事用機械分 解組立費（土 工）	土工施工の重建設機械の分解、組立、輸 送及び運搬時の損料または賃料に要する 費用をいう。	土工における分解・組立を要する建設機械の貨物自動車による運搬 ブルドーザ32 t 級－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道） 分解・組立を要する現場内移動－2回 湿地ブルドーザ20 t 級－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道） 分解・組立を要する現場内移動－2回 バックホウ1m³－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道） 分解・組立を要する現場内移動－2回		
	工事用機械分 解組立費（基礎 杭工）	基礎杭工の重建設機械の分解、組立、輸 送及び運搬時の損料または賃料に要する 費用をいう。	基礎杭工における分解・組立を要する建設機械の貨物自動車による運搬 オールケーシング掘削機（スキッド式全旋回型）φ1.200m－1台－1往復－ 運搬距離65.8km（片道） クローラクレーン60－65 t－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道） 分解・組立を要する現場内移動－1回		工事用機械分 解組立費（クロ ーラクレーン）	クローラクレーンの分解、組立、輸送及 び運搬時の損料または賃料に要する費用 をいう。	クローラクレーンの分解・組立を要する建設機械の貨物自動車による運搬 クローラクレーン90 t－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道） クローラクレーン120 t－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道）		
	仮設材運搬費	仮設材等（仮橋、鋼矢板、H形鋼、覆工 板等）の運搬に要する費用をいう。	構造物掘削特殊部の仮設部材の運搬 リース品－約374 t 中古品－約533 t 基地～現場－運搬距離65.8km(片道)		工事用機械分 解組立費（硬質 地盤専用圧入 機）	硬質地盤専用圧入機の分解、組立、輸送 及び運搬時の損料または賃料に要する費 用をいう。	硬質地盤専用圧入機の分解・組立を要する建設機械の貨物自動車による運 搬 硬質地盤専用圧入機29 t－2台－1往復－運搬距離65.8km（片道）		
	地質調査等費	平板載荷試験、ボーリング、サウンディ ング、その他原位置試験に要する費用を いう。	構造物基礎部の地耐力確認用平板載荷試験 橋梁下部工＝1箇所 C－B x－6箇所 補強土壁－16箇所		工事用機械分 解組立費（基礎 杭工）	基礎杭工の重建設機械の分解、組立、輸 送及び運搬時の損料または賃料に要する 費用をいう。	基礎杭工における分解・組立を要する建設機械の貨物自動車による運搬 オールケーシング掘削機（スキッド式全旋回型）φ1.200m－1台－1往復－ 運搬距離65.8km（片道） クローラクレーン60－65 t－1台－1往復－運搬距離65.8km（片道） 分解・組立を要する現場内移動－1回		
	監督員詰所費	監督員詰所の営繕（設置・撤去、維持・ 補修）に要する費用をいう。	監督員詰所 詰所面積－9.9m2 設置期間－34ヶ月		仮設材運搬費	仮設材等（仮橋、鋼矢板、H形鋼、覆工 板等）の運搬に要する費用をいう。	構造物掘削特殊部の仮設部材の運搬 リース品－約374 t 中古品－約533 t 基地～現場－運搬距離65.8km(片道)		
	非破壊検査試 験費	コンクリート構造物の非破壊試験による 鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	鉄筋かぶり確認試験 橋梁下部工－側面32箇所 C－B x－上向き13箇所 側面22箇所		地質調査等費	平板載荷試験、ボーリング、サウンディ ング、その他原位置試験に要する費用を いう。	構造物基礎部の地耐力確認用平板載荷試験 橋梁下部工＝1箇所 C－B x－6箇所 補強土壁－16箇所		
					監督員詰所費	監督員詰所の営繕（設置・撤去、維持・ 補修）に要する費用をいう。	監督員詰所 詰所面積－9.9m2 設置期間－34ヶ月		
					非破壊検査試 験費	コンクリート構造物の非破壊試験による 鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	鉄筋かぶり確認試験 橋梁下部工－側面32箇所 C－B x－上向き13箇所 側面22箇所		

対象

設計図(本線)

68/84

階段工A詳細図 (2)

階段工 A 詳細図 (2)

68 / 84

手すり工詳細図

再生プラスチック  
90×90

手すり補強金物

階段

手すり補強金物

手すり取付金具

手すり取付金具

手すり支持金物  
St PL-6.0

手すりビーム  
42.7φ×2.3

平面図 S=1:20

手すり取付金具

ボルト M10×85mm

ボルト M8×65mm

60.5φ×3.2  
支柱

手すり補強金物

手すり取付金具

手すり支持金物

階段本体

再生プラスチック根太角材  
90×90・90×120・150×70等

90°以上

90°

手すり補強金物

支柱 60.5φ×3.2

手すり取付金具

手すり支持金物  
PL-150×90×t6.0

手すりビーム  
42.7φ×2.3

側面図 S=1:20

手すり取付金具

手すりビーム  
42.7φ×2.3

手すり取付金具

支柱 60.5φ×3.2

階段本体

手すり補強金物

再生プラスチック根太角材  
90×90等

手すり支持金物  
PL-150×90×t6.0

50

1385

65

50

60.5

90

6

手摺部材数量表 斜長 20m当り (片側)

項 目	規格・寸法	重 量	数 量
端末支柱 (φ 60.5t 取付金具含)	60.5φ×3.2×1,385	5.85Kg/本	2 本
中間支柱 (φ 60.5t 取付金具含)	60.5φ×3.2×1,385	6.05Kg/本	9 本
手すりビーム	42.7φ×2.3×1,878	4.00Kg/本	10 本
手すり支持金物 (φ 60.5t M12-130含)	PL-150×90×t6.0	0.90Kg/個	11 個
手すり補強金物 (φ 60.5t M10-40, M10-30含)	FB-4.5×38×4.5×50	1.1Kg/個	11 個

支柱鋼管及びビーム鋼管:  
溶融亜鉛・アルミニウム・マグネシウム合金メッキ+ポリエステル粉体塗装  
支柱キャップ及び支柱支持プレート: 溶融亜鉛メッキ+ポリエステル粉体塗装  
ボルト: 溶融亜鉛メッキ

常 盤 自 動 車 道  
道 工 事

図面の種類 階段工 A 詳細図 (2)

縮 尺 1:20 図面番号 /

設計会社名 株式会社オリエタルコンサルタンツ

施工会社名

事務所名 東日本高速道路株式会社 東北支社  
いわき工事事務所

正

階段工 A 詳細図 (2)

68 / 84

手すり工詳細図

再生プラスチック  
90×90

手すり補強金物

階段

手すり補強金物

手すり取付金具

手すり取付金具

手すり支持金物  
St PL-6.0

手すりビーム  
42.7φ×2.3

平面図 S=1:20

手すり取付金具

ボルト M10×85mm

ボルト M8×65mm

60.5φ×3.2  
支柱

手すり補強金物

手すり取付金具

手すり支持金物

階段本体

再生プラスチック根太角材  
90×90・90×120・150×70等

90°以上

90°

手すり補強金物

支柱 60.5φ×3.2

手すり取付金具

手すり支持金物  
PL-150×90×t6.0

手すりビーム  
42.7φ×2.3

側面図 S=1:20

手すり取付金具

手すりビーム  
42.7φ×2.3

手すり取付金具

支柱 60.5φ×3.2

階段本体

手すり補強金物

再生プラスチック根太角材  
90×90等

手すり支持金物  
PL-150×90×t6.0

50

1385

65

50

60.5

90

6

手摺部材数量表 斜長 20m当り (片側)

項 目	規格・寸法	重 量	数 量
端末支柱 (φ 60.5t 取付金具含)	60.5φ×3.2×1,385	5.85Kg/本	2 本
中間支柱 (φ 60.5t 取付金具含)	60.5φ×3.2×1,385	6.05Kg/本	9 本
手すりビーム	42.7φ×2.3×1,878	4.00Kg/本	10 本
手すり支持金物 (φ 60.5t M12-130含)	PL-150×90×t6.0	0.90Kg/個	11 個
手すり補強金物 (φ 60.5t M10-40, M10-30含)	FB-4.5×38×4.5×50	1.1Kg/個	11 個

支柱鋼管及びビーム鋼管:  
溶融亜鉛メッキ+ポリエステル粉体塗装  
支柱キャップ及び支柱支持プレート: 溶融亜鉛メッキ+ポリエステル粉体塗装  
ボルト: 溶融亜鉛メッキ

常 盤 自 動 車 道  
道 工 事

図面の種類 階段工 A 詳細図 (2)

縮 尺 1:20 図面番号 /

設計会社名 株式会社オリエタルコンサルタンツ

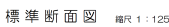
施工会社名

事務所名 東日本高速道路株式会社 東北支社  
いわき工事事務所

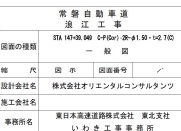
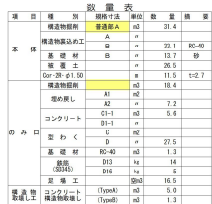


備考

80 / 87



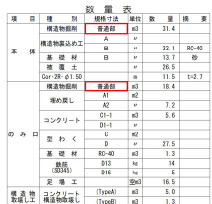
設計条件	
管種	コルゲートパイプ2R型
管径	φ1.50m
活荷重	Y 荷重
形式	突出型
単位体積重量	土
	鉄筋
土被り	9.67m
材料角	81° 56' 49"
縦断勾配	i = 0.672%



80 / 87



管種	コルゲートパイプ28型
管径	φ1,50m
活荷重	T 荷重
形式	突出型
単位体積重量	土
	19.0 kN/m <sup>3</sup>
土被り	舗装
	22.5 kN/m <sup>3</sup>
土被り	9.67m
斜角	81° 56' 49"
縦断勾配	i = 0.672%



対象

設計図（溝渠工）  
82/87  
STA. 150+79.472  
C-P(Cor)・2R-φ1.50・  
t=2.7 (C) 一般図

図

STA. 150+79.472 C-P(Cor)・2R-φ1.50・t=2.7(C) 一般図

側面図 S=1:500

標準断面図 S=1:75

平面図 S=1:500

設計条件

数量表

常磐自動車道  
改訂工事  
STA.150+79.472 C-P(Cor)・2R-φ1.50・t=2.7(C)  
一般図  
図示 図面番号  
設計会社名 株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
施工会社名  
事務所名 東北支社  
いわき工務部

備考

訂正

正

STA. 150+79.472 C-P(Cor)・2R-φ1.50・t=2.7(C) 一般図

側面図 S=1:500

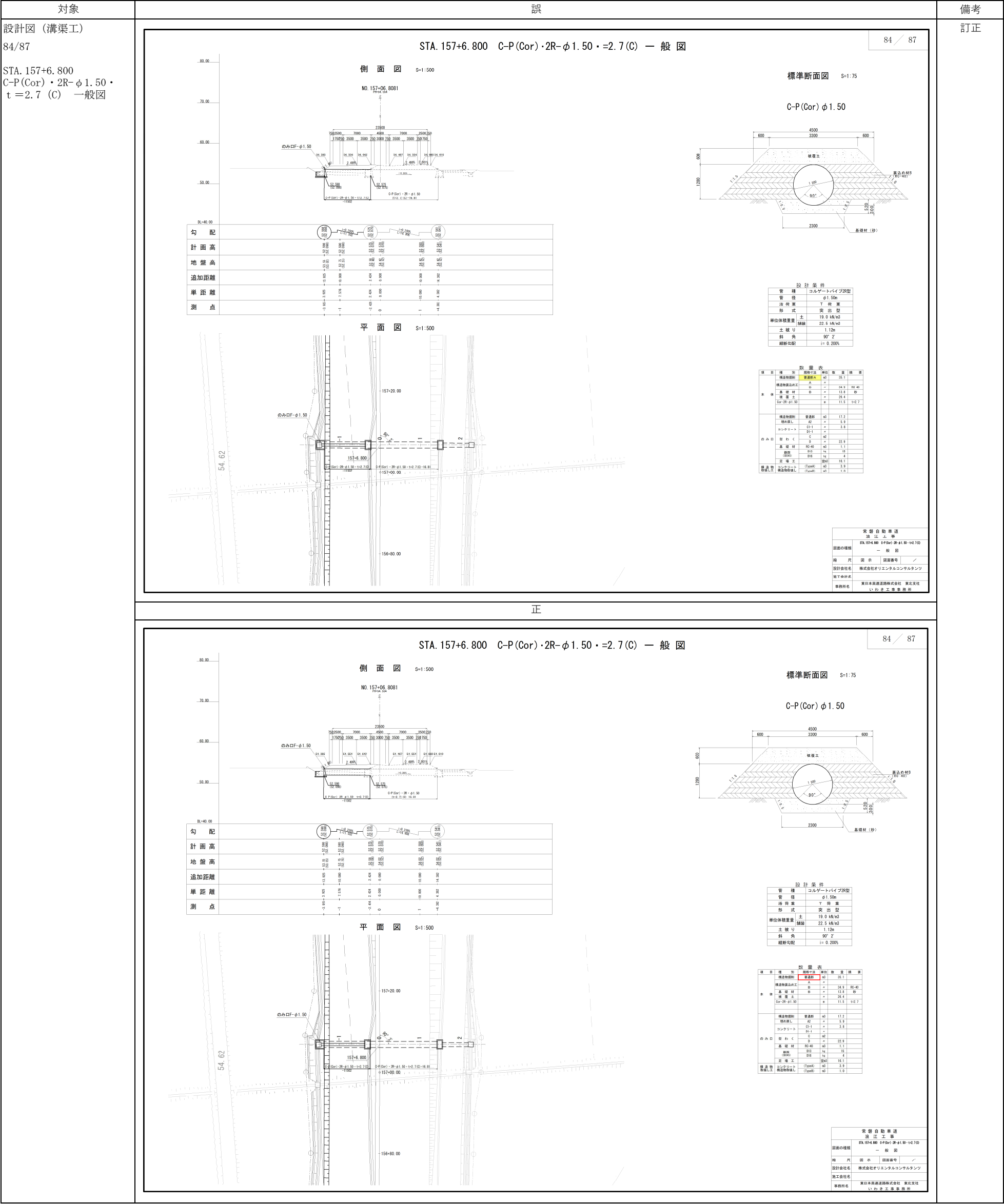
標準断面図 S=1:75

平面図 S=1:500

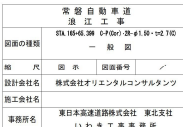
設計条件

数量表

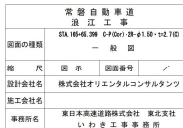
常磐自動車道  
改訂工事  
STA.150+79.472 C-P(Cor)・2R-φ1.50・t=2.7(C)  
一般図  
図示 図面番号  
設計会社名 株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
施工会社名  
事務所名 東北支社  
いわき工務部



t = 2.7 (C) 一般図



86 / 87



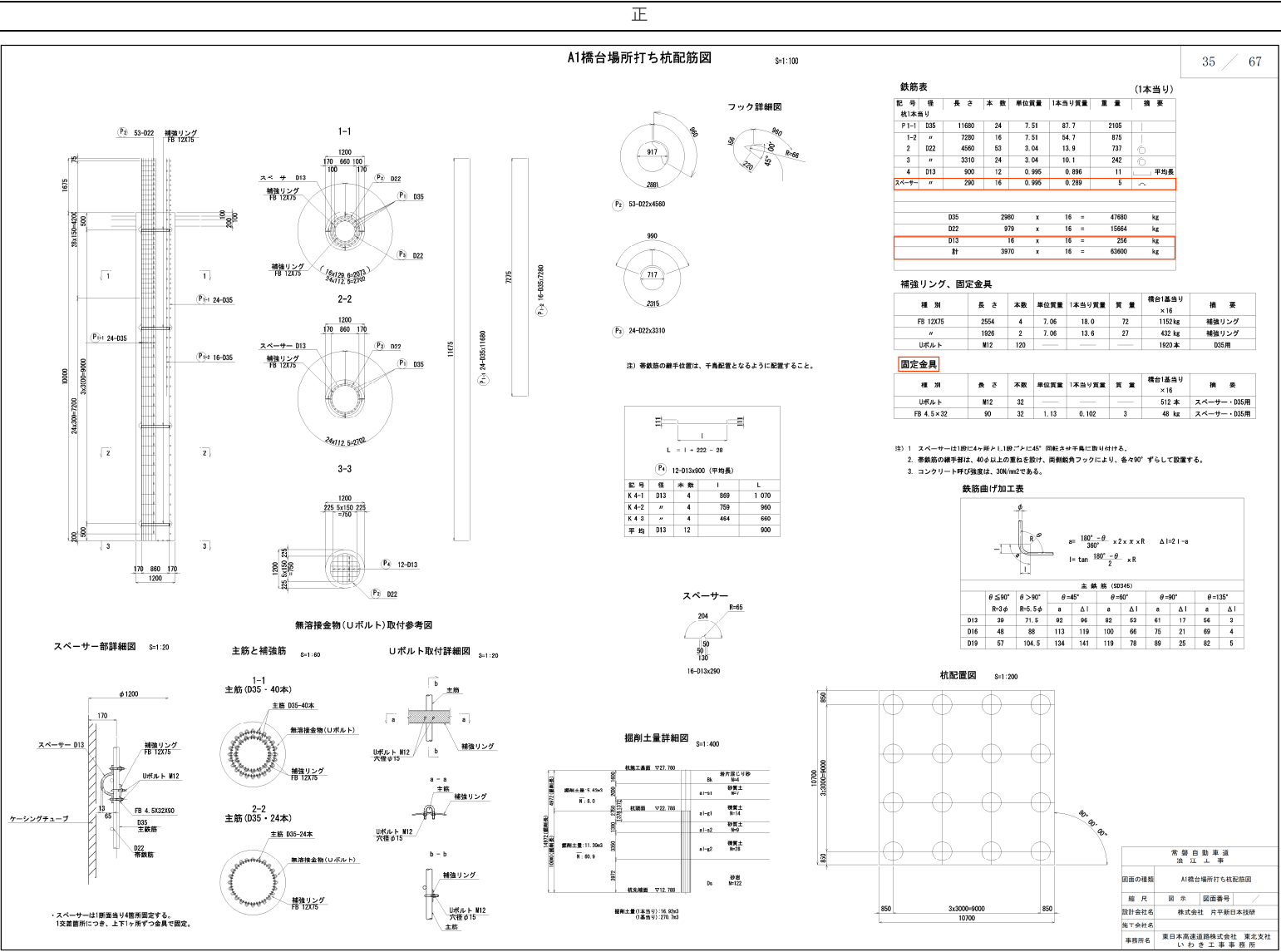


1 / 67

常盤自動車道 浪江工事			
図面の種類	下部工数量総括表(1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

1 / 67

常 磐 自 動 車 道 沿 江 工 事			
図面の種類	下部工数量総括表(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
監 査 社 名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		



設計図(請戸川橋下部工)

36/67

A2橋台場所打ち杭配筋図

訂正

